



竜西だより 4月号

学校教育目標 自ら学ぶ意欲と豊かな感性を持ち、共にやり抜く実践力のある子どもの育成

～学び きらきら 心 うきうき 行い どんどん～

スローガン みんなで生き生きがんばる竜西っ子～みんなが楽しい！竜王西小学校！～



これからもコロナ対策を講じながら、全教職員が一丸となって

『みんなが楽しい竜王西小学校』をめざします！

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

★みんなが楽しい学校とは…★

- どの子も安心して過ごすことができ、どの子にも自分の居場所がある学校
- 学ぶことの楽しさをいっぱい感じて、仲間とつながる楽しさをいっぱい味わえる学校
- 先生たちが生き生きと働き、統一感・一体感のある学校



★そんな学校を創るために、以下のことに重点的に取り組みます。

○力点① 「授業(学び)づくり～わかる楽しさ・できる自信～」

- * 脳トレタイムの取組(朝 15 分の徹底反復学習)による基礎基本の徹底、集中力・学習意欲の向上
- * 校内研究「自ら考え、表現しようとする子どもを育てる」の推進と授業改善(算数科を窓口にして)
- * 「読み解く力」の共通理解と主体的・対話的で深い学びの実現
- * 英語(外国語活動)教育の充実と発展(英語に対する学ぶ意欲の向上)
- * GIGA スクール化への対応 ⇒ ICT 機器の積極的活用によるわかる授業・学習の個別最適化へ向けての工夫・改善



- * プログラミング学習の充実によるプログラミング的思考の育成
- * 「家庭学習ががんばり週間」等、家庭との連携による学習習慣の確立
- * 「ほんわか大作戦」の継続・発展による読書文化の醸成
- * 習熟度別少人数学習の実施によるきめ細かな学習指導の充実と個別指導の工夫



○力点② 「集団(仲間)づくり～つながる楽しさ・自分への自信(自尊感情)～」

- * 生活指導3つのあ(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)運動の徹底
- * 心をつなぐあいさつ運動の継続 ⇒ 気持ちのいいあいさつを教職員から
- * 確かな価値観を培う道徳教育の推進と思いやりの心を育てる人権教育の推進
- * 体験活動やたてわり交流活動による親和的・支持的学級集団づくりの推進
- * いじめを未然防止する仲間づくりと生徒指導の早期対応・組織対応の推進、関係機関等と連携した教育相談機能の充実(生徒指導「竜西モデル」の実践)
- * 主体的に取り組む体力づくりと望ましい食習慣を身につける食育の推進



コロナ禍が終息して…
こんなふうにスクラム組みたいな

○力点③ 「学校(組織)づくり～教師力・学校力の向上～」

- * 全員体制で取り組む授業研究(教科指導)と組織的・積極的な生徒指導(学級集団づくり)
- * 「信じて・本気で・一枚岩になって・続ける」徹底反復学習(脳トレタイム)の共通実践
- * 研ぎ合い、高め合う職員集団づくりと積極的な授業公開・授業研究(OJT の推進)
- * 町教職員全員研修や教育奨励事業への積極的参加
- * 子どもと向き合う時間の確保のための学校における働き方改革の推進



○カ点④

「地域とともに歩む学校づくり ～コミュニティ・スクール西小～」

- * 学校運営協議会との連携・協働による地域全体で子どもを育む体制づくり
- * 地域学校協働本部との連携協働による地域学校協働活動の推進と地域人材の活用
⇒ 地域とともに進める「ふるさと学習推進プロジェクト」の充実
(「地域(社会)に開かれた教育課程」の実現)
- * 地域・保護者への説明責任と学校ホームページ等による情報の発信の拡大
⇒ 学校教育の「見える化」
- * スクールガード、地域防犯組織との連携強化による安心安全の確保



令和3年度 教職員組織

ALL STAFF よろしくお祈りします

校長 武久 雅則

教頭

大辻 源

主幹教諭

元岡 万季

1. 学年組織

学級担任	1組	2組
1 年	吉村 知美	村松 咲希
2 年	伊藤 彩花	萩野 満美
3 年	吉村 淳子	井口 美優
4 年	出口 恵美	桐畑 隆文
5 年	山中 寿基	木本悠一郎
6 年	宮居 賢	瀬尾 美幸
おおぞら	杉山 功雄	
たいよう	有井 正美	
そよかぜ	松本 安子	

2. 担任外組織

教 務	元岡 万季
教務助任	安田 完
養護教諭	北出 鮎実
事務主査	野瀬 裕樹
算数少人数指導	田村 翼
少人数指導(非常勤)	仙波 暢子
主幹マネジメント加配	安田 草子
社会人活用講師	谷 正次
用務員	尾川 栄佑
用務員	上藪 忠
学習支援員	谷村 恭子
いじめ・別室対応支援員	山中 勇

図書館司書	鈴木真名美
日本人英語講師(JTE)	廣田真由美
外国人英語講師(ALT)	ジェイソン・ケルフィー
英語専科教員(電小付)	神尾 尚紀
スクールサポートスタッフ	西村 聖美
緊急スクールサポートスタッフ	阿久井 栄
スクーリングケア・ター	澤 心太郎
通級指導教員(電小付)	安達紀代美
言葉の教室指導員	木瀬 泉
言葉の教室指導員	木村菜穂子
スクールカウンセラー	中澤 美穂

4月行事予定

8日(木) 新任式・始業式・入学式
9日(金) 字別児童会・ｽｸｰﾙｶﾞｰﾄﾞさんと顔合せ
12日(月) きらうきどんの日
給食開始 身体測定(高)
13日(火) 身体測定(中)
14日(水) 身体測定(低)
登校班旗振指導
15日(木) 避難訓練(火災)
全校4校時下校
17日(土)・18日(日) ファミリー読書
19日(月) フッ素洗口開始・委員会
20日(火) 検尿

21日(水) 検尿(予備日)
移動図書館
1, 4年心電図検査
22日(木) 視力検査(5年)
23日(金) 視力検査(4年)
26日(月) 視力検査(3年)
家庭訪問①
27日(火) 視力検査(2年)
家庭訪問②
28日(水) 視力検査(1年)
家庭訪問③
29日(木) 昭和の日
30日(金) 視力検査(6年)
家庭訪問④



積小為大

校門に立つ
二宮尊徳(金次郎)

二宮尊徳が残した言葉に『積小為大(せきしょういだい)』というものがあります。「小を積みめば、則ち大と為る」という意味で、小さいことが積み重なって、はじめて大きなことになる。だから、大きなことを成し遂げようと思うなら、小さいことをおろそかにしてはいけないという教えです。実は、あの偉大なイチロー選手も、メジャーリーグで大記録を達成した時のインタビューで、「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」という言葉を残しています。まさに二宮尊徳の説く「積小為大」の生き方です。情報化社会はますます進展し、さらに利便性(便利さ)や効率性(手っ取り早さ)ばかりが求められる世の中になるかもしれませんが、「積小為大(せきしょういだい)」・・・自分がやるべき目の前の小さなことを疎かにしないこと、「継続は力なり」を大切にしながら、どの子も精一杯自分を伸ばしてほしいと願っています。

コロナ感染の状況により、予定は変更になる場合があります。



本校の校歌に歌われている「あえんぼの花」(コバノミツバツツジ)がコスモス保育園周辺の林に群生しています。今が見頃なのでぜひ鑑賞ください。

